

## 2300モジュール・ファームウェアのバージョンアップ方法

2300モジュール・ファームウェアのバージョンアップは、以下の手順に従って行ってください。

※2300遠隔計測システムのファームウェアのバージョンアップには、Smart Site Utility Pro 9768のVer 4.30以降が必要です。

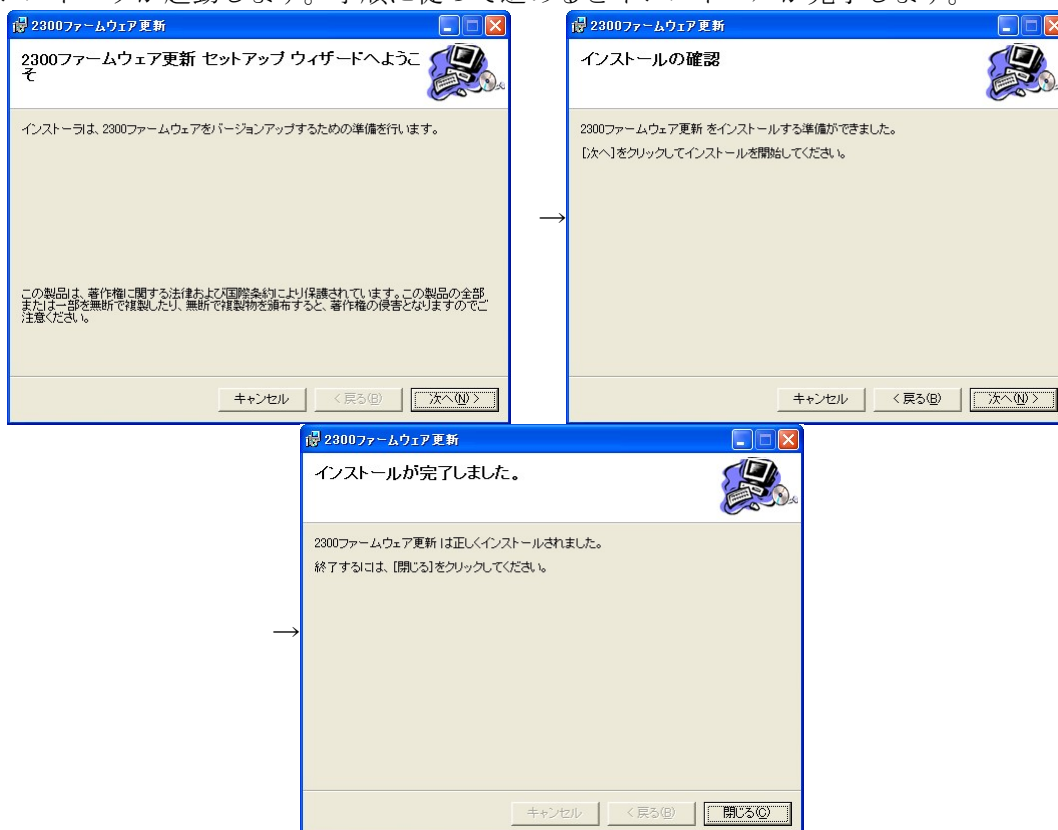
### 1. 2300モジュールのファームウェアデータを更新

ホームページからダウンロードしたファイルを使用して、パソコンにインストールされている2300モジュールのファームウェアデータを最新版に更新します。

- 1. ホームページからダウンロードしたファイル「2300FirmUpdate」（または 2300FirmUpdate.msi）を、マウスでダブルクリックして実行します。



- 2. インストーラが起動します。手順に従って進めるとインストールが完了します。



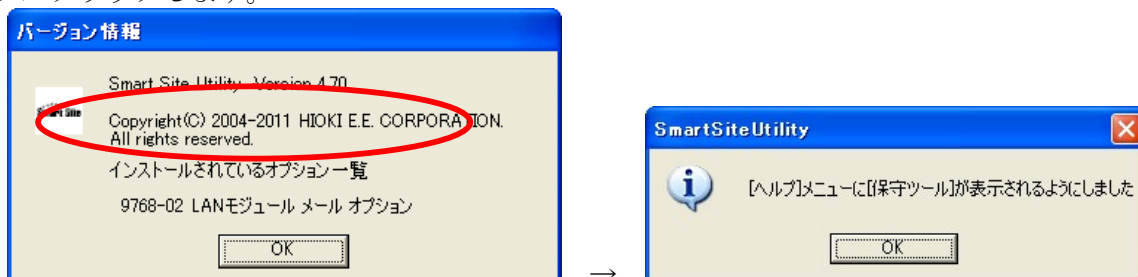
## 2. PC と2300モジュールの接続

PC と2300モジュールとを接続してください。

Smart Site Utility Pro 9768 (以下SS-U) を起動して通信確認を実施し、バージョンアップ対象のモジュールが存在することを確認します。

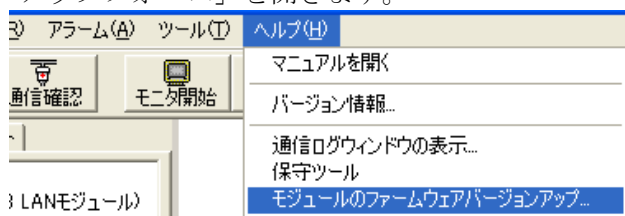
## 3. SS-U を保守ツールメニュー表示モードにする手順

SS-U の [ヘルプ] メニューで [バージョン情報] を開き、下記○枠内 (Copyright のあたり) をダブルクリックします。



## 4. モジュールバージョンアップフォームを表示させる手順

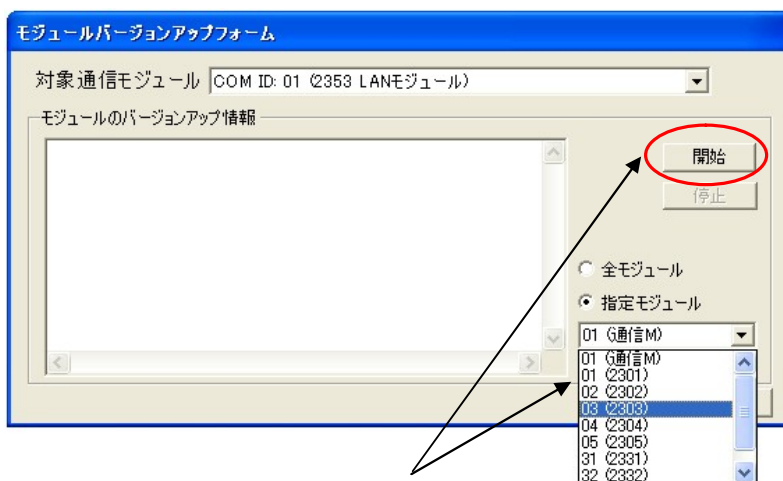
再度SS-U の [ヘルプ] メニューで [モジュールのファームウェアバージョンアップ] を選択し、[モジュールバージョンアップフォーム] を開きます。



## 5. バージョンアップの実施手順

- 1. [モジュールバージョンアップフォーム] でバージョンアップの対象モジュールを選択し、[開始] を押してバージョンアップを開始します。

※通信モジュール(2351/2352/2353/2354)のみバージョンアップする場合は、[指定モジュール] で[01(通信M)]などの"通信M"を選択します。



バージョンアップの対象を選択して[開始]を押します

## 6. バージョンアップ所要時間とバージョンアップ中の注意事項

## -1. バージョンアップ所要時間

例) 230xのバージョンアップを10台行くと、約5～6分かかります。

## -2. バージョンアップ中の注意

(1) パソコンからデータが送信し終わると、モジュールのバージョンアップが始まります。

この間には、絶対に2300の電源を切らないでください。

(2) バージョンアップが終わると、2300モジュールは自動で再起動します。

以上